

令和3年度

一般会計主要施策の成果  
及び予算執行報告書  
(総括)

鹿児島県 曾於市

## 令和3年度 一般会計主要施策の成果

(総括)

令和3年度の曾於市一般会計主要施策の成果及び予算執行について報告します。

令和3年度の国の当初予算は、「経済財政運営と改革の基本方針2020」に基づき、新型コロナウイルス感染症の拡大防止策とともに、デジタル改革・グリーン社会の実現や、防災・減災、国土強靱化の推進、少子高齢化対策や働き方改革など、経済・財政一体となった改革を推進することとされました。また、予算編成に当たっては、我が国財政の厳しい状況を踏まえ、引き続き歳出全般にわたり、聖域なき徹底した見直しを推進し、地方においても、国の取組と基調を合わせ見直しを進めることとされました。

令和3年度の地方財政対策においては、新型コロナウイルス感染症の影響により地方税等が大幅な減収となる中、安定的な行政サービスを提供しつつ、防災・減災、国土強靱化の推進などの重要課題に取り組めるよう、地方交付税等の一般財源総額について、前年度を2,414億円上回る約62兆円の額を確保されました。

本市の令和3年度当初予算編成は、前年度に引き続き、市民の皆様が開かれた市政を目指すとともに、農・畜産物の付加価値を高め、商工業の発展を更に推進し、子どもからお年寄りまで、笑顔が輝き元気なまちづくりを目指すため、(1)市民にやさしい市政運営、(2)人と自然を生かした活気ある地域づくり、(3)教育・文化を促進し、心豊かなまちづくり、(4)人口増を目指し、地域活性化の推進、(5)農・畜産物を生かした所得倍増のまちづくりの5つを基本方針として、限られた財源の中で、市民の福祉、教育、くらしを守るための予算として編成しました。

令和3年度の予算規模は、当初予算が26,875,000千円でしたが、その後新型コロナウイルス感染症対策や南九州畜産獣医学拠点事業などにより12回の補正を行い、最終予算額は31,667,550千円となりました。なお、繰越予算を含んだ予算現額は34,344,314千円となったところです。

決算の概要は、歳入総額31,242,003千円(対前年度8.7%減)、歳出総額30,171,991(対前年度9.2%減)で、歳入歳出差引額は1,070,012千円となりました。歳入歳出差引額から令和4年度へ繰越すべき財源287,469千円を差し引いた実質収支額及び令和4年度への繰越金は782,543千円となりました。

歳入決算額の主なものは、地方交付税9,193,925千円(構成比29.4%)、国庫支出金5,667,037千円(構成比18.2%)、市税3,364,675千円(構成比10.8%)、市債3,191,600千円(構成比10.2%)、繰入金2,816,753千円(構成比9.0%)です。

歳出決算額の主なものは、民生費8,723,387千円(構成比28.9%)、総務費4,660,372千円(構成比15.5%)、公債費3,367,867千円(構成比11.2%)、教育費3,091,422千円(構成比10.2%)、商工費3,009,421千円(構成比10.0%)です。

普通建設事業費の主な事業としては、岩川小学校改築事業、庁舎整備事業、宅地分譲地整備管理事業、光ファイバー網整備推進事業、市道整備事業等を実施し、また、大雨等による被害を復旧するための災害復旧事業を行いました。

以下、各所属ごとの成果について報告するとともに、決算に基づく財政分析及び財政指数について報告します。

## 【議会事務局】

議会費は、議会の使命（政策形成機能と執行機関監視機能）と議員の職責（住民の意思を把握し行政運営に反映）を果たすための経費と事務局職員の人件費や事務費に要した経費です。

主な議会活動は、定例会を6月、9月、12月、3月の4回で23日間、臨時会を8月の1回で1日間の本会議を開会して審議を行いました。各常任委員会においては、常任委員会を延べ38日間、議会運営委員会を延べ13日間、特別委員会は、議会広報等調査特別委員会を10日間、高校跡地利活用調査特別委員会を4日間、決算審査特別委員会を2日間、議会改革調査特別委員会を1日間それぞれ開催し、審議・調査・提言しました。

なお、議会の活動状況報告や市民の声を聞くために毎年開催していた議会報告会、地方公共団体の事務や議会制度の運営のための各常任委員会の所管事務調査、県市議会議長会主催の議員研修会等は、昨年引き続き新型コロナウイルス感染症防止の観点から中止となりました。

平成26年度から政務活動費の交付に関する条例に基づき、議員の調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として会派または議員に対し、政務活動費を交付しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、各会派での調査研究等は実施できませんでした。

議会広報については、広報紙「こんにちは議会です」を5月、7月、11月、12月、2月に発行し、議会の審議状況及び活動の実態、議員改選後の新議会体制等を広く住民に周知しました。

また、議場内の放送音響配信システム等の老朽化が進んでいたことから、新たに放送音響設備等の改修工事を行い、議場システムの更新を行いました。

### 1 会議等開催状況

#### (1) 本会議

会議名	開催日	開催日数	主な内容
定例会	6月4日～6月24日	6日	補正予算及び条例等の審議
	8月27日～9月30日	7日	補正予算及び決算、条例等の審議
	12月1日～12月22日	5日	改選後の議会構成の審議、補正予算及び条例等の審議
	2月25日～3月25日	5日	当初予算及び補正予算、条例等の審議
臨時会	8月12日	1日	補正予算の審議

## (2) 委員会

委 員 会 名		開催日数	主 な 内 容
常任委員会	総務常任委員会	13日	付託案件等の審査
	文教厚生常任委員会	12日	付託案件等の審査
	建設経済常任委員会	13日	付託案件等の審査
議会運営委員会		13日	会期日程，議事日程等の調整
特別委員会	議会広報等調査特別委員会	10日	議会広報紙発行
	高校跡地利活用調査特別委員会	4日	財部地区の高校跡地利活用の調査
	決算審査特別委員会	2日	決算認定案の審査
	議会改革調査特別委員会	1日	議員定数や議員任期等についての協議

## (3) 研 修

※新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点から中止。

(一部はWeb研修で開催)

## (4) 所管事務調査

※新型コロナウイルス感染症の影響により未実施。

## (5) 議会広報

区 分	発 行 日	主 な 内 容
こんにちは議会です 第64号	令和3年4月30日	3月定例会審議状況及び 第1回・第2回臨時会審議状況等報告
こんにちは議会です 第65号	令和3年7月30日	6月定例会審議状況等報告
こんにちは議会です 第66号	令和3年11月1日	9月定例会審議状況及び 第3回臨時会審議状況等報告
こんにちは議会です 臨時号	令和3年12月15日	改選後の新たな議会構成等の状況報告
こんにちは議会です 第67号	令和4年2月1日	12月定例会審議状況等報告

2 令和3年（1月～12月）付議事件件数

(1) 市長提出付議事件件数

(単位：件)

区 分		原案可決	修正可決	否 決	撤 回	計
地方自治法第96条 第1項議決事件	条例（1号）	42	0	0	0	42
	予算（2号）	39	0	0	0	39
	決算（3号）	7	0	0	0	7
	4号から14号 までの議案	15	0	0	0	15
地方自治法第96条第1項第15号及 び第96条第2項を含むその他全て の議案		2	0	0	0	2
専決処分案件		3	0	0	0	3
計		108	0	0	0	108

(2) 議員提出付議事件件数

(単位：件)

区 分	原案可決	修正可決	否 決	審議未了	撤 回	計
条 例	1	0	0	0	0	1
規 則	2	0	0	0	0	2
意 見 書	3	0	0	0	0	3
決 議	0	0	0	0	0	0
計	6	0	0	0	0	6

(3) 請願及び審査した陳情の件数

(単位：件)

区 分	採 択	不採択	取下げ	審議未了	その他 (文書配付)	計
請願の件数	0	0	0	0	0	0
陳情の件数	2	0	1	2	7	12
計	2	0	1	2	7	12

3 議会報告会

※新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点から中止。

## 【監査委員事務局】

---

### 1 現金出納検査

前月末日における一般会計，特別会計，水道事業会計及び公共下水道会計の出納計算書と現金預金残高との照合検査並びに基金等の保管状況の確認検査を毎月実施しました。

### 2 決算審査

市長から付された決算書等の関係諸表の係数を確認するとともに，予算の執行が効率的なものとなっているか等を主眼として実施する審査で，水道事業会計は令和3年6月7日から6月8日までの2日間，一般会計及び特別会計は6月30日から7月20日までの10日間実施し，工事請負等の現地調査も行いながら審査しました。

### 3 財政健全化法による審査

前年度の決算数値等において算定された，健全化判断比率（実質赤字比率，連結実質赤字比率，実質公債費比率、将来負担比率）及び公営企業の資金不足比率の審査を決算審査と同時期に行いました。

### 4 定期監査

財務に関する事務の執行が適正かつ効率的に行われているか，経営に係る事業の管理が合理的かつ効率的に行われているか等を主眼として実施する監査で，令和4年1月14日から2月4日までの12日間実施しました。

### 5 学校監査

学校の現状や予算執行状況及び帳簿等の整理・備品管理が適正かつ効果的に行われているかを主眼として実施する監査で，令和3年8月18日から8月24日までの3日間で市内23学校のうち11校の監査を実施しました。

### 6 消防監査

消防団活動に係る財務に関する事務及び関係諸帳簿類並びに消防備品を，令和3年11月15日から11月18日までの4日間で，市消防団27分団のうち14分団の監査を実施しました。

### 7 備品監査

前年度購入した備品について監査を実施しました。所管課の備品は令和3年5月18日から5月20日までの3日間，給食備品は8月20日に4施設で監査を実施しました。

### 8 財政援助団体監査

市が財政的援助を行っている事業が，補助等の目的に沿って適正で有効かつ効率的に

執行されているか等を主眼として実施する監査で、市が補助金等を交付した団体や個人の中から監査委員が選定し、令和3年10月13日と10月14日の2日間で36団体等について監査を実施しました。

## 9 指定管理施設監査

公の施設の指定管理に係る出納その他の事務の執行が適正かつ効率的に行なわれているか、当該団体に対する指導監督は適切に行われているかを主眼として実施する監査で、令和3年10月15日に4施設の監査を実施しました。

### 監査（学校・消防・給食備品・指定管理施設）の実施状況

学校	高岡小	櫛小	光神小	深川小	中谷小
	財部小	岩川小	笠木小	大隅北小	
	財部中	大隅中			計 11件
消防	高岡分団	櫛分団	柳迫分団	友常分団	諏訪分団
	岩南分団	大隅中央分団	神牟礼分団	大隅北分団	菅牟田分団
	月野分団	財部南分団	宇都分団	中谷分団	計 14件
給食備品	大隅給食センター		財部学校給食センター		
	末吉中学校給食室		末吉小学校給食室		
指定管理施設	財部保健福祉センター		曾於市メセナ住吉交流センター		
	曾於市花房峡憩いの森		大隅恒吉地区診療所		

### 財政援助団体監査の実施状況

市農地災害復旧事業補助金	3件
宅地関連等災害復旧事業補助金	3件
畜産振興協議会補助金	3件
店舗新築・改築補助金	3件
市単独持続化給付金	3件
中小企業事業継続支援金（第2期）	3件
弥五郎どん祭り補助金	1件
雇用促進補助金	1件
介護保険利用者負担対策事業負担金	3件
機構集積協力金交付事業補助金	3件
住宅リフォーム促進事業補助金	3件
園芸振興事業補助金	3件
特色ある学校づくり推進事業補助金	3件
体育協会補助金	1件
	計 36件

## 【総務課（地域振興課）】

---

### 1 職員研修及び健康診断

職員研修については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止・縮小したため、例年に比べて少ない実施となりましたが、新規採用職員研修7人、主査研修（主査、採用後12年以上）3人、役職員研修19人、パソコン研修等の特別研修6人を実施し、自発的な知識・技術習得のための研修に27人が取り組み、住民サービスを行うための職員の資質向上を図りました。

健康診断については、職員及び会計年度任用職員を含め372人が受診、人間ドックで154人が受診しており、職員の健康管理の徹底を図りました。

### 2 文書管理事務

総合的な文書管理システム「文庁」を従来のファイリング方式と併せることにより、文書事務の適正な執行及び管理を行うとともに、情報公開・個人情報保護制度への適切かつ迅速な対応を図りました。

自治会への公文書は、配送員により行政事務連絡員へ毎月2回発送し、行政事務の伝達の重要な手段の一つとして充実を図っています。

例規関係では、データベース化により、新旧対照表作成や用語検索等に加え、国の法令検索システム、法令改廃システム等の情報機能の充実を図りましたが、更に利便性の向上に向け、法制執務環境の整備を図っていきます。

例規集については、令和4年3月31日現在で、条例・規則等1,177件が掲載されており、追録については年4回発行しました。

### 3 行政改革

本庁・支所機能再編計画に基づき、行政組織の見直しを行うため、行政改革推進本部会議等を開催し、令和4年10月の行政組織体制について協議を行いました。

行政改革推進本部会議では、定員適正化計画も協議し、令和3年11月に策定、公表しました。

また、市民窓口において、転入等のライフイベントにおける総合窓口（ワンストップサービス）を令和4年10月に導入するため、総合窓口システム導入業務委託を実施しました。

### 4 電算業務

電算業務については、支所間を結んだ光ケーブルを利用している情報の共有化と業務の効率化を図るとともに、番号制度に対応するため、既存システムの改修、職員を対象としたeラーニングによる番号制度や情報連携に向けた研修を行いました。

また、総合行政システム（RKKCS）は、現在81のシステムを利用しており、住基、税、財務、介護福祉、保健、水道など各業務の迅速化を図っています。

情報セキュリティ対策では、近年問題となっているインターネット上の脅威対策として、平成29年7月から県内自治体で構築する鹿児島県自治体セキュリティクラウドへ参加し運用開始5年目を迎え、大きな問題もなく安定した運用を行っています。



## 5 自治会振興

自治会振興助成金については、自治会への公文書の配布、行政事務の連絡並びに自治会振興及び活動に対し交付するもので、462自治会(末吉220、大隅124、財部118)に対し下表のとおり助成金を交付しました。

### 自治会振興助成金の決算状況

地区名	自治会数	加入戸数(戸)	自治会振興補助金(円)		
			戸数割	規模加算額	計
末吉	220	4,678	16,373,000	6,340,000	22,713,000
大隅	124	3,354	11,739,000	5,185,000	16,924,000
財部	118	2,849	9,971,500	4,255,000	14,226,500
合計	462	10,881	38,083,500	15,780,000	53,863,500

\*戸数割は1戸当たり3,500円です。

自治会加入促進助成金は、新規加入世帯へ1万円を、新規加入した自治会へ1戸当たり5千円を交付しました。新規加入世帯については、83戸(末吉29戸、大隅33戸、財部21戸)の930,000円を交付し、自治会については、93戸(末吉39戸、大隅33戸、財部21戸)の465,000円を交付しました。

自治公民館建設事業費等補助金は、16自治会に対し3,622,000円(建設事業3,051,000円、備品571,000円)を交付しました。

自治会統合補助金は、令和2年度に統合した祝井谷自治会に対し80,000円を交付しました。

地域コミュニティ事業については、地域コミュニティ活性化推進計画に基づき、第1次モデル地区(柳迫校区、笠木校区、中谷校区)が年度当初に地域コミュニティ協議会を設立し、地域づくり計画の作成を行いました。

また、第2次モデル地区の募集を行い、北部地区、南部地区、大隅南地区の3地区公民館をモデル地区として指定しました。第2次モデル地区は、地域コミュニティ協議会設立準備委員会を設立し、地区内の住民アンケートや地区の課題などの話し合い活動を行いました。

## 6 防犯関係

防犯関係については、犯罪抑止、事件や事故の早期解決、行方不明者発生時の早期発見を目的として、市内9か所に街頭防犯カメラを設置し、画像提供に関する協定を曾於警察署と締結しました。

また、市内事業所等を対象としたドライブレコーダー設置補助金については、地域の見守り、事件や事故、行方不明者発生時の情報提供を条件に市内の6事業所に対し、438,500円の補助金を交付し、地域住民の安全確保のための防犯灯設置補助金については、23自治会に688,000円の補助金を交付しました。

犯罪の防止及び犯罪意識の高揚のための啓発活動については、曾於警察署管内で組織している曾於市安全安心協会が中心となり、市内小学校における不審者対応訓練や高齢者向けの空き巣・車上狙いなどの街頭犯罪やうそ電話詐欺などの予防啓発、通学路の危険箇所点検や防犯パトロール等を実施しました。

## 7 交通安全対策

曾於警察署や交通安全協会等の各種団体の協力を得て、交通安全運動（春・夏・秋・年末年始）の推進、幼児や小学生、高齢者等を対象とした交通安全教室の開催、交通安全週間での広報活動のほか、4月に「市民曾於ぐるみ交通安全運動!!」として、関係機関、企業、学校及び市民等から約450名の参加のもと、市内3か所における朝の立哨活動を実施し、事故防止、交通安全意識の高揚に努めました。

令和3年中の市内での交通人身事故は43件発生し、死者数1人、負傷者数54人で、前年に比べ件数は20件の減、死者数は1人の増、負傷者数は23人の減となりました。

なお、令和3年度の交通災害共済加入者は9,911人（加入率34.0%）で、掛金額は4,955,500円、見舞金受給者は21人、見舞金総額は1,275,000円となりました。

### (1) 市内事故発生件数の推移

区分	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
発生件数（件）	115	95	99	63	43
死者数（人）	5	3	4	0	1
負傷者数（人）	144	110	118	77	54

### (2) 交通災害共済の推移

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
加入者数（人）	13,986	12,381	11,527	10,747	9,911
掛金合計（円）	6,993,000	6,190,500	5,763,500	5,373,500	4,955,500
見舞金受給者（人）	69	48	31	26	21
見舞金総額（円）	5,250,000	4,765,000	3,825,000	1,390,000	1,275,000

## 8 共生協働推進事業

共生協働推進事業として、平成24年度から開始した市民提案型地域づくり事業は、事業の推進を図るため、市民への周知とともに審査会を1回実施しました。

審査会には14件の申請があり、審査を経て継続事業10件、新規事業4件が採択となり、各団体は事業を開始しましたが、14団体のうち6団体は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から事業の実施を中止し、翌年度以降に事業を実施することとしました。

## 9 選挙関係

選挙は、政治に参加できる唯一の機会であり、民主主義の根幹をなすものであり、選挙権年齢の引き下げに伴い、若者を含めた有権者一人ひとりの意識を高めることも重要となっています。

令和3年度は、岩北小学校及び岩南小学校で選挙に関する出前授業を行うなどの選挙啓発活動を実施しました。

また、選挙執行について、市長選挙は、令和3年7月18日に執行し、投票結果は、有権者数29,373人、投票者数17,830人、投票率60.70%でありました。衆議院議員選挙と市議会議員選挙は、令和3年10月31日に同日執行し、衆議院議員選挙の投票結果は、有権者数29,437人、投票者数20,082人、投票率68.22%、市議会議員選挙の投票結果は、

有権者数29,234人，投票者数19,991人，投票率68.38%でありました。

## 10 消防防災

消防については，大隅曾於地区消防組合負担金や消防防災の活動に要する経費を執行しました。

消防団員は，定数620人に対し，令和4年3月31日現在の実人員は576人となっており，令和3年度中の消防団出動状況については，21件の火災（建物3件，林野10件，車両3件，その他5件）に，延べ879人が出動しました。

火災予防活動については，春・秋の火災予防運動期間及び火災多発時に消防車両を使用した広報活動を実施しましたが，新型コロナウイルス感染症の影響により，多くの消防団活動が制限され，各種訓練や全戸査察，年末特別警戒等については方法や時期の変更，規模縮小や時間短縮を図りながら実施し，消防記念式典及び操法大会，消防出初式については，本年度も中止としました。

災害対策についても新型コロナウイルス感染症の影響により，多くの訓練や大会等が中止を余儀なくされました。

また，昨年同様コロナ関連交付金を活用し，検温ディスペンサーや防災用簡易テントなど，避難所における感染症対策備品等の整備を行いました。

### (1) 大隅曾於地区消防組合（曾於市）の出動状況

#### ア 救急出動件数

(単位：件)

事故種別 \ 年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	対前年 増 減
火 災	3	0	3	1	1	0
交通事故	150	151	141	155	96	△59
一般負傷	287	271	284	208	206	△2
急 病	1,149	1,204	1,127	979	1,000	21
そ の 他	348	319	390	445	450	5
合 計	1,937	1,945	1,945	1,788	1,753	△35

#### イ 火災出動件数

(単位：件)

火災種別 \ 年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	対前年 増 減
建 物	15	12	11	12	3	△9
林 野	2	0	0	5	6	1
車 両	2	1	3	2	4	2
その他	2	0	1	14	7	△7
非火災	24	17	12	-	-	-
合 計	45	30	27	33	20	△13

## (2) 非常備消防費

## ア 消防施設整備の状況

事業名	決算額(円)	内 容
消火栓設置工事	3,923,000	5基 末吉 諏訪, 上町, 上新地地区 大隅 坂元地区 財部 畠中地区
防火水槽設置工事 (耐震性貯水槽40t)	35,597,844	5基 大隅 坂元, 下須田木地区 末吉 新地, 諏訪, 高松地区
消防車両購入	32,780,000	水槽付小型動力ポンプ積載車(光神分団) 水槽付小型動力ポンプ積載車(神牟礼分団)

## イ 消防団員の出動状況

区分	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	対前年度 増 減
	火災出動	件数	36	30	31	29	21
	人数	1,877	1,169	1,246	1,184	879	△305
風水害	件数	2	1	10	13	0	△13
	人数	328	203	739	704	0	△704
捜 索	件数	13	17	10	5	4	△1
	人数	381	432	578	158	193	35
訓 練	件数	43	163	69	44	83	39
	人数	3,633	5,989	1,947	2,755	3,983	1,228
その他	件数	100	230	250	150	147	△3
	人数	6,704	5,535	6,728	6,124	5,930	△194
合 計	件数	194	441	370	241	255	14
	人数	12,923	13,328	11,238	10,925	10,985	60

## 【企画課(地域振興課)】

### 1 情報発信事業

広報紙「そお」を毎月15,150部発行し、見やすく分かりやすい紙面づくりに努め、国や県などの関係機関に161通郵送し、34人の市外在住者に有料(1,800円)で郵送しました。防災ラジオについては、転入者への配布や故障での取り替え、各企業等への販売を行いました。

### 2 自治会放送管理費

自治会内の連絡体制の充実を図るため、自治会放送設備(末吉地区52自治会、大隅地区12自治会)の維持管理を行いました。

また、有線放送設備の撤去作業を年次的に行い、令和3年度は3,295本(累計10,702本)の有線柱を撤去しました。

### 3 地上デジタルテレビ放送難視聴地域解消事業

地理的条件によりテレビの視聴が困難である地域の共同受信施設組合(13組合)へ補助金を交付した。

### 4 企画事務費

#### (1) 総合振興計画

令和4年度から令和6年度までの3か年の実施計画について確認、点検及び見直し(ローリング)を行い、曾於市総合企画審議会の審議を経て策定しました。

#### (2) 辺地総合整備計画

辺地地域の整備状況(令和3年度)

辺地の名称	整備施設	整備状況
恒吉辺地	市道 神牟礼・沖上線	改良舗装 L=100.0m W=7.0m
	市道 須田木線	改良舗装 L=55.0m W=6.0m
市吉辺地	市道 笠木・かんじん松線	改良舗装 L=120.0m W=5.0m
高塚・桐原・溝ノ口辺地	市道 桐原・溝ノ口線	改良舗装 L=100.0m W=6.0m
	市道 高塚線	改良舗装 L=100.0m W=5.0m
	市道 馬水・高塚線	橋梁下部工・橋台N=2基 L=30.2m W=5.0m
古井・荒川内辺地	市道 荒川内・八ヶ代線	改良舗装 L=140.0m W=5.0m

#### (3) 広域行政

大隅総合開発期成会は、東九州自動車道をはじめとする高規格幹線道路や域内主要道路の整備促進、畜産振興対策、家畜伝染病予防対策の充実及び地方財源の充実・確保などが積極的に推進されるよう関係各省庁及び機関へ要望活動を実施しました。

南九州総合開発協議会は、国・県道の整備促進、東九州自動車道及び地域高規格道路都城志布志道路の早期整備、圏域における救急医療体制の充実及び医師の確保など連携した圏域づくりを推進していくために関係機関に対し要望活動を実施しました。

環霧島会議は、それぞれの行政区を超えてお互いに知恵を出し合い協働することにより、地域の活性化を図るための施策に取り組みました。

## 5 男女共同参画推進事業

「第2次曾於市男女共同参画プラン」の実現に向けて、各課毎、対象事業に5年間の目標数値を設定し全庁的に取り組み、実績の検証におきましては、男女共同参画懇話会が開催出来なかった為、書面開催にて行いました。

また、男女共同参画プランの周知がなされているか、曾於市民2,000人を対象に意識調査を行いました。

なお、魅力アップセミナーでは、男女共同参画の推進の為、親子で料理に関する知識を身につける機会をつくり、家庭環境の充実を図り、家事の役割分担を意識づける活動を行いました。(参加者48人)

その他の活動としましては、子どもの頃から男女共同参画への理解を深める為、県の採択を受け、「子どもたちの男女共同参画学びの広場推進事業」を財部南小学校で行い、ワークショップを通じて児童と一緒に学んだり、ワークショップで交流を深めました。

(参加者23人)

しかしながら、コロナの感染予防の為、住民向けのDV研修会や男女共同参画活動推進補助事業におきましては開催ができない状況でした。

## 6 定住促進対策事業

市内定住促進を図るため、住宅取得祝金支給制度、空き家バンク登録、市有地活用定住促進補助金制度を実施しました。

### (1) 住宅取得祝金等支給制度

#### ア 新築

区 分	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
件数 (件)	66(11)	89(14)	83(26)	76(23)	76(19)
金額 (円)	9,300,000 (2,300,000)	13,500,000 (3,400,000)	15,900,000 (9,400,000)	14,600,000 (9,300,000)	13,600,000 (7,900,000)

( )内はうち転入者

#### イ 建売住宅購入

区 分	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
件数 (件)	15(5)	2(1)	5(4)	3(1)	2(1)
金額 (円)	2,000,000 (1,000,000)	300,000 (200,000)	1,650,000 (1,550,000)	500,000 (300,000)	600,000 (500,000)

( )内はうち転入者

#### ウ 中古住宅購入

区 分	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
件数 (件)	6(2)	13(3)	20(10)	18(10)	12(7)
金額 (円)	500,000 (300,000)	950,000 (450,000)	3,250,000 (2,400,000)	4,300,000 (3,500,000)	3,000,000 (2,500,000)

( )内はうち転入者

### (2) 空き家バンク登録及び空き家バンク登録住宅改修補助金

区 分	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
空き家バンク申請件数 (件)	28	10	30	26
〃 登録件数 (件)	19	4	19	10
空き家バンク登録住宅改修事業費 (円)	1,771,200	2,961,760	-	18,439,634
〃 補助金 (円)	500,000	635,000	-	1,920,000

### (3) 市有地活用定住促進補助金

区 分	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
申請件数 (件)	3	6	5	4
土地取得費 (円)	12,401,000	6,749,000	18,329,000	13,804,000
補助金 (円)	1,065,000	672,000	1,328,000	1,016,000

7 結婚支援事業（定住促進対策事業）

結婚を希望する方の出会いを支援するため、かごしま出会いサポートセンターと連携して、鹿児島市でしかできない登録を曾於市内で結婚イベントと地域における出会いや結婚の支援を行う出張登録会を実施しました。

内容	開催日	登録者数（人）
かごしま出会いサポートセンター	令和3年5月30日	6
	令和3年10月17日	3

8 交通対策事業

曾於市思いやりタクシーは、末吉地域10路線を車両4台（契約業者2社）、大隅地区12路線を車両4台（契約業者3社）、財部地区7路線を車両3台（契約業者2社）で毎日又は隔日運行しています。全路線区間の総延長は、約680kmです。

曾於市思いやりバスについては、財部駅から末吉本町・弥五郎伝説の里を経由して、曾於医師会立病院までの27.1kmを契約業者が土日及び祝日を除いて1日5往復運行しています。

また、交通手段のない高齢者の利用促進を図るため、運転免許証を自主返納した方に無料乗車券（交付日から5年間限り有効）をこれまで1,247人に交付しており、令和3年度の利用者数は延べ10,467人（乗車運賃換算：2,093,400円）となっています。

(1) 思いやりタクシー・バス運行実績 （単位：人）

車両	地域	運行の形態				乗車実績	
		路線名	運行回数	運行日	運行事業者	乗車数	1日平均
タクシー （10人乗り）	末吉地区	棚木線	往復2.5回	日曜運休	大隅南海交通㈱	2,755	8.8
		大隅支所線	往復3.0回	日曜運休	大隅南海交通㈱	2,354	7.5
		葦原線	往復2.5回	日曜運休	大隅南海交通㈱	2,019	6.5
		外園線	往復3.0回	日曜運休	大隅南海交通㈱	2,261	7.2
		久保公民館線	往復2.0回	月・水・金	末吉タクシー(有)	549	1.8
		前田橋線	往復2.0回	月・水・金	末吉タクシー(有)	338	2.2
		笠木線	往復2.0回	火・木・土	末吉タクシー(有)	537	3.4
		市吉線	往復2.0回	火・木・土	末吉タクシー(有)	306	1.0
		南之郷線	往復4.5回	毎日	末吉タクシー(有)	2,960	8.0
		山下線	往復2.0回	火・木・土	末吉タクシー(有)	1,049	6.8
	小計				15,128		
	大隅地区	立馬線	往復2.0回	火・木・土	(有)大保タクシー	811	5.2
		青松段線	往復2.0回	火・木・土	(有)大保タクシー	418	2.7
		上須田木線	往復2.0回	月・水・金	(有)大保タクシー	888	5.7
		荒谷線	往復2.0回	月・水・金	大隅南海交通㈱	95	0.6
		上坂元線	往復2.0回	火・木・土	大隅南海交通㈱	449	2.9
		清津野線	往復2.0回	月・水・金	大隅南海交通㈱	1,425	9.1
		八合原周回	5.0回周回	火・木・土	大隅南海交通㈱	856	5.5
		大迫線	往復2.0回	月・水・金	(有)大保タクシー	163	1.0
		大川原線	往復2.0回	火・木・土	(有)大保タクシー	378	2.4
縄瀬線		往復2.0回	火・木・土	(有)大保タクシー	127	0.8	
東笠木第一線	往復2.0回	火・木・土	末吉タクシー(有)	274	0.9		
八合原周回	5.0回周回	月・水・金	(有)大保タクシー	710	4.6		
小計				6,594			

財 部 地 区	赤坂線	往復2.0回	月・水・金	(有)財部タクシー	619	4.0
	大良公民館線	往復2.0回	火・木・土	(有)財部タクシー	1,602	11.2
	大迫線	往復2.0回	月・水・金	(有)財部タクシー	870	5.6
	須賀線	往復2.0回	火・木・土	(有)財部タクシー	1,115	7.1
	踊橋線	往復2.0回	月・水・金	本村交通(株)	744	5.2
	財部校区巡回	3.0回周回	火・木・土	本村交通(株)	976	6.3
	財部支所周回	1.0回周回	日曜運休	(有)財部タクシー	1,038	3.3
		1.0回周回	日曜運休	(有)財部タクシー	302	1.0
		1.0回周回	日曜運休	本村交通(株)	1,009	3.0
	小計				8,275	
タクシー合計				29,997		
バス	財部駅～ 医師会立病院線	往復5.0回	土日祝運休	鹿児島交通(株)	14,642	59.8
合 計					44,639	

(2) 思いやりタクシー・バス運行事業者別運行収入及び補助額 (単位：円)

車両	地区	運行事業者	運行経費	運行収入	補助金
タ ク シ ー  ( 10 人 乗 り )	末吉 地区	大隅南海交通(株)	13,896,000	1,134,640	12,761,360
		末吉タクシー(有)	13,224,000	883,300	12,340,700
		小 計	27,120,000	2,017,940	25,102,060
	大隅 地区	大隅南海交通(株)	5,656,800	213,510	5,443,290
		(有)大保タクシー	10,029,600	347,300	9,682,300
		小 計	15,686,400	560,810	15,125,590
	財部 地区	(株)財部タクシー	9,885,600	818,520	9,067,080
		本村交通(株)	4,872,000	368,300	4,503,700
		小 計	14,757,600	1,186,820	13,570,780
	合 計			57,564,000	3,765,570
バス	鹿児島交通(株)	14,000,000	4,059,200	9,940,800	
総 合 計			71,564,000	7,824,770	63,739,230

(3) 思いやりタクシー・バスの利用状況の推移

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
タクシー					
乗車人員 (人)	40,066	38,954	37,046	31,805	29,997
運行経費 (円)	55,860,210	56,332,130	56,461,800	57,312,000	57,564,000
営業収入 (円)	6,369,100	5,467,000	5,840,050	4,464,720	3,765,570
補助金 (円)	49,491,110	50,865,130	50,621,750	52,847,280	53,798,430
バス					
乗車人員 (人)	16,686	14,152	14,288	11,688	14,642
運行経費 (円)	12,000,000	12,000,000	12,700,000	12,500,000	14,000,000
営業収入 (円)	3,229,400	2,688,200	2,681,300	2,168,300	4,059,200
補助金 (円)	8,770,600	9,311,800	10,018,700	10,331,700	9,940,800

(4) 無料乗車券交付及び利用状況 (思いやりタクシー・バス)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
交付人数	118	113	145	136	97
利用者数	7,203	6,520	6,279	8,143	10,467
思いやりタクシー	6,810	6,233	5,823	7,774	10,130
思いやりバス	393	387	456	369	337



(5) 代替バスの運行状況

ア 鹿児島交通(株)運行分 (運行期間：R2. 10. 30～R3. 9. 30)

運行コース	キロ程	1日運行 便数	欠損額	曾於市 負担率	曾於市 負担額	乗車 人数
	km	回	円	%	円	人
都城～通山～牧ノ原	26.5	3.0	9,200,922	52.59	4,838,000	7,664
都城～財部～吉ヶ谷公民館	23.9	2.0	5,507,540	70.04	3,857,000	1,861
女子校～鹿屋・野方～岩川	39.6	1.0	5,297,348	24.66	1,306,000	3,947
都城～財部～柴建	22.2	1.0	2,560,827	68.30	1,749,000	924
末吉駅跡～岩川	9.1	0.5	751,754	100.00	751,000	657
末吉駅跡～岩川～野方	23.8	0.5	1,834,609	75.21	1,379,000	3,645
志布志高校～八合原～末吉駅跡	30.5	0.5	2,629,740	51.32	1,349,000	2,178
志布志～稚見松・松山駅～末吉駅跡	32.8	1.0	3,073,001	45.09	1,385,000	6,802
志布志高校～松山～岩川	22.5	0.5	1,358,326	24.23	329,000	682
計			32,214,067		16,943,000	28,360

イ (有)高崎観光バス運行分 (運行期間：R3. 4. 1～R4. 3. 31)

運行コース	キロ程	1日運行 便数	欠損額	曾於市 負担率	曾於市 負担額	乗車 人数
	km	便	円	%	円	人
都城駅～高千穂牧場～庄 内～霧島神宮	40.0	平日12 土日祝6	15,096,625	3.75	565,000	10,691

(参考)

代替バスの市負担額及び県補助額の推移 (単位：円)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
市負担額	16,616,000	17,742,000	21,110,000	20,320,000	17,508,000
県補助額	4,308,000	4,485,000	4,485,000	1,713,000	5,273,000

(6) 地域間幹線バスの運行状況

ア 鹿児島交通(株)運行分 (運行期間：R2. 10. 1～R3. 9. 30)

運行コース	キロ程	1日運行 便数	欠損額	曾於市 負担率	曾於市 負担額	乗車 人数
	km	回	円	%	円	人
都城～岩川～野方～鹿屋	55.2	4.3	4,560,000	34.05	1,553,000	53,690
志布志駅～岩川～鹿児島空港	69.4	5.0	6,578,000	34.58	2,275,000	61,061
志布志駅～稚見松～松山駅～岩川～都城	44.0	3.3	346,000	34.54	120,000	33,023
計			11,484,000		3,948,000	147,774

イ 宮崎交通(株)運行分 (運行期間：R2. 10. 1～R3. 9. 30)

運行コース	キロ程	1日運行 便数	欠損額	曾於市 負担率	曾於市 負担額	乗車 人数
	km	回	円	%	円	人
イオン都城～川原谷	16.9	3.5	310,000	8.284	25,000	10,918
計			310,000		25,000	10,918

(参考) 地域間幹線バスの市負担額の推移 (単位：円)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
市負担額	1,363,000	3,493,000	4,120,000	3,593,000	3,973,000

## 9 土地対策費

大規模土地売買等の届出は、国土利用計画法に基づき、土地の投機的取引や高騰を抑制し、適性かつ合理的な土地利用の確保を図るため、一定面積以上の土地取引について土地の所在する市町村に届出書を提出し、市町村が審査等を行い県に対して意見書を付して送付する制度です。

(単位：件)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
届出件数	23	27	24	24	35

## 10 弥五郎伝説の里管理費

平成8年に開設された弥五郎伝説の里公園は、道の駅や入浴施設を併設し順調に入り込み客数を増やしていましたが、近年高速道路の開通や地域の人口減少により客数は減少に転じております。そこで、新たな方策として道の駅や健康ふれあい館、民間の経営するフォレストアドベンチャーを遊歩道で結ぶことによって一体化し公園内を活性化するため、県の地域振興推進事業（補助率1/2）を活用し、遊歩道、案内板（1基）を整備しました。

## 11 宅地分譲整備事業

本市の定住人口増の推進し、地域の活性化を図るために、大隅町坂元地区と大隅町南地区の分譲地について販売促進を行い、令和4年度に分譲開始（全24区画）を予定している財部地区宅地分譲地の造成工事を行いました。

## 12 山中貞則顕彰記念事業

平成23年度に山中家から譲り受けた山中貞則氏の旧邸宅を、「山中貞則顕彰館」として氏の所蔵物や所縁のある品等で展示・整備し、平成26年4月19日に開館しました。

この顕彰館は、国内政治・行政・経済・文化等の発展に大きく貢献し、郷土の誇りである山中貞則氏の功績を讃え、その顕彰を展示すると共に、将来を担う若者の勉学就業の場・地域住民の憩い交流の場を創出するための施設として設置したものです。

令和3年度は、開館8年目となりましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で施設の閉館や入館制限を実施したこともあり入館者数は774人（前年度△16人、前年度比98.0%）となりました。施設の管理運営は特定非営利活動法人山中貞則顕彰会が行い、感染防止に努め山中貞則氏の功績を、市内はもとより県内外へと広く知っていただいたところです。

この事業に係る経費については、事業の趣旨に賛同された方からの寄附金で全てが賄われており、令和3年度末の寄附金総額は約3億30万円、今後も寄附を募り事業を継続していきます。

## 13 移住交流推進事業

### (1) 田舎の仕事を経験：オンライン

曾於市外からの移住希望者を対象として、就業体験・市内観光・自然・地域のイベントをオンラインで紹介し、地域との交流を通じて本市の魅力を感じてもらえる経験コースを実施しました。

コース	開催日	参加者数(人)
◆森のまち！曾於市！～森で過ごす贅沢な休日～	令和3年12月5日	449
◆カフェのまち！曾於市！オンラインカフェテリア～	令和3年12月5日	36

(2) 1日イベント：オンライン

曾於市内外の子育て世代の家族・グループを対象として、地元で暮らす方が先生役になり、曾於市の暮らしを経験。地域の人との交流を通じて曾於市の魅力を感じてもらえる経験コースを実施しました。

コース	開催日	参加数
◆お茶とポークのまち！曾於市！地元の”よか” ところ再現じゃど～	令和4年1月23日	49人
◆起業の優しいまち！曾於市！～森の学校エシカルマルシェ～	令和4年2月13日	13店舗 303組
◆チョコづくり体験	令和4年2月13日	20人
◆バターナイフづくり体験	令和4年2月13日	21人

14 地域おこし協力隊事業

地域間交流及び移住促進、地域資源の発掘及び活用、特産品の開発や販路開拓、地域情報の発信等これらの活動に取り組む地域おこし協力隊を市外から募集し、令和3年度末現在で3人の協力隊員が活動を行いました。

15 光ファイバー網整備推進事業

昨今の情報化社会への急速な推移、また新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、テレワーク、学校の遠隔授業の需要増加に対応するため、これまで未整備であった、大川原局、柿木局、坂元局、恒吉局の4局を整備し、既に整備済みの末吉局、五位塚局、岩川局、財部局、馬立局の5局については、ルートを拡大しました。これにより、市内全域で光ファイバー網の利用が可能となり、令和3年度は、新規開局エリアからは280件、ルート拡大エリアからは89件の申し込みがありました。

16 経済対策配布型商品券事業（第2弾）

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、売り上げが低迷する市内の事業者支援及び市内における消費活動の喚起を図ることを目的とした経済対策配布型商品券事業（第2弾）を令和3年5月15日から令和3年10月31日まで実施し、33,586人（96.5%）の方が引換券と商品券（全店応援券5枚、飲食店・地元応援券5枚の計10枚綴）を交換し、329,485枚を利用されました。

17 南九州畜産獣医学拠点事業

本市における構造的な課題を解決し、地方創生の実現に向けて、財部高校跡地の利活用を行い、基幹産業である畜産業の持続的発展及び全国の獣医学部生等との交流を通して市外からの新しい人の流れをつくるため、整備を推進しました。

令和4年1月に内閣府に地方創生拠点整備交付金及び地域再生計画を提出し、3月に認定されました。対象事業費は、19億9,009万9千円で、主な事業の内訳は、校舎等の改修工事が7億8,892万円、牛舎・鶏舎等の新築工事が8億6,574万4千円、造成・外構工事が1億9,373万5千円です。

今後も、鹿児島大学等の関係機関と曾於市間で拠点整備及び運営の協議を実施し、令和6年4月の運用開始を目指し、事業を推進します。

18 経済対策配布型商品券事業（第3弾）

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、売り上げが低迷する地元事業者支援及び市内における消費活動の喚起を図ることを目的とした経済対策配布型商品券事業（第3弾）を令和3年11月25日から令和4年2月15日まで実施し、32,726人（95.4%）の方が引換券と商品券（飲食店・地元応援券6枚綴）を交換し、191,614枚を利用されました。

## 19 統計調査事業

令和3年度の統計調査は、5年ごとに行われる経済センサス基礎調査を主な調査とし、毎年行われる学校基本調査や工業統計調査、市町村民所得推計、毎月行なう県人口移動調査を実施しました。

令和3年度に実施した主な統計調査

調査名	周期	調査の目的	調査単位	交付金
経済センサス基礎調査	5年	全ての産業分野における事業所の活動状態等を調査し、事業所・企業を対象とする各種統計調査の母集団情報を整備することを目的としている。	曾於市全域全数調査	1,790,000円

## 20 企業誘致・起業創業促進対策費

企業誘致・起業創業促進対策については、県産業立地課、東京・大阪・福岡の県事務所及びかごしま企業家交流協会等の支援団体と連携し、誘致活動を推進しました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、東京・大阪等の都市圏や県外の企業等への訪問活動が制限されたことから、誘致活動の支援業務を委託している団体の企業誘致支援員を活用した企業の訪問活動が主なものとなりました。訪問はリモート会議を含めて延べ113件、その多くが製造業、ソフトウェア・情報サービス業、食品業等であり福岡地区27件、鹿児島・宮崎ほか地区が86件となっています。訪問時は、曾於市の周知広報も兼ね曾於市の産業構造や企業立地の際の優遇措置についての紹介を行いました。

令和3年度の立地協定は、10月に大隅町月野に組立工場を増設する株式会社湯前（本社：曾於市大隅町）、同10月に末吉町岩崎の工場跡施設を購入し、製造業全般における治工具の設計及び製作を行うオジマモールド株式会社（本社：曾於市末吉町）、12月に末吉町南之郷に工場を増設し、各種産業機械の制御盤の設計・製作や機械設備の設計・製作を行う株式会社外前田電機（本社：曾於市末吉町）の3社と締結しました。

工場設置等補助については、内村工業団地の区画2を購入し、家畜等の飼料添加物及び動物用医薬品の物流倉庫を整備したコーキン化学株式会社、製造業全般における治工具の設計及び製作を行うオジマモールド株式会社の2社の設備投資に伴う事業総額392,552,139円に対して、工場設置補助金39,254,000円を交付、雇用促進補助金については1工場（対象者7人）に700,000円交付し本市の工業開発を促進しました。

また、市内立地企業に対する支援策として平成25年度に設立した「曾於市立地企業懇話会（26社加入）」において、曾於高等学校の2年生を対象とした市内企業見学会（7月：11社）と市内企業合同企業説明会（12月：11社）を開催し、市内企業の周知と魅力を発信し、市内企業への就職率向上を図りました。

## 21 テレワーク・起業創業推進事業

コロナ禍のもと、新しい生活様式が求められる中、働き方の多様性を確保し、就業機会の拡大及び起業創業の推進を図り、もって地域の活性化を推進するため、建替えて未利用となっていた大隅曾於地区消防組合財部分署跡施設を改修し、テレワーク・起業創業施設を整備しました。

当該施設は、ICTを活用した時間や場所にとらわれない柔軟な働き方の推進を図るため、施設内においてネット環境や機器の提供、これから起業を考えている方、起業して間もない方の相談相手として、目標達成をサポートしながら一緒にビジネスを産み出すインキュベーションマネージャー（地域おこし協力隊）を配置し、起業創業の推進を

図りました。

令和3年度は開設から1年が経過し、利用状況は延べ人数711人（実人数130人）であり、テレワークの活用例としては、一般の方はデザイン及び動画編集、オンラインセミナーの受講、農家の方では育てた作物の販売のための動画編集や資料作成が多く、起業創業相談ではホームページやSNSの発信手法、広告チラシ作成、年間事業計画に対するの助言、商品撮影方法と起業に対する助言依頼が主なものでした。現在のところ直接、起業創業に結び付いた事案は無いが、継続して相談等を受けている方に対して、引き続き伴走支援を行なうため、施設の適正な運営管理に努め、利用者増と起業創業を支援します。

## 【財政課（地域振興課）】

### 1 財政事務

令和3年度当初予算は、前年度に引き続き、市民の皆様が開かれた市政を目指すとともに、農畜産物の付加価値を高め、商工業の発展を更に推進し、子どもからお年寄りまで、笑顔が輝き元気なまちづくりを目指すため、(1)市民にやさしい市政運営、(2)人と自然を生かした活気ある地域づくり、(3)教育・文化を促進し心豊かなまちづくり、(4)人口増を目指し、地域活性化の推進、(5)農・畜産物を生かした所得倍増のまちづくりの5つを基本方針として、26,875,000千円を予算化しました。年度途中には、新型コロナウイルス感染症に伴うワクチン接種事業及び経済対策事業、特別給付金事業や大雨等による被害を復旧するための災害復旧費、南九州畜産獣医学拠点事業などの追加により12回の補正を行い、令和2年度からの繰越額を含んだ最終予算現額は、34,344,314千円となりました。

また、年度初めには、普通交付税の合併算定替による特例交付が終了したことと、人口減等により普通交付税の減額が見込まれることから、限られた財源を効果的に活用し執行するよう、各課長へ執行方針を通知したところです。

財政の運営については、歳出に対して不足する額を3,191,600千円借り入れ、歳出の公債費は、元金を3,287,020千円、利子を80,848千円返済しました。令和3年度末の市債残高は、25,679,182千円となり、令和2年度末残高25,774,602千円に対して、95,420千円の減となったところです。

特定目的基金については、後年度の財源として、財政調整基金、ふるさと開発基金、思いやりふるさと基金、まちづくり基金等へ2,941,036千円積み立てを行い、財政調整基金を333,729千円、その他基金を2,406,263千円取り崩したため、基金残高は10,556,402千円となり、令和2年度末残高10,355,358千円に対して、201,044千円の増となったところです。

令和3年度決算での自治体財政の健全化を判断する早期健全化基準及び財政再生基準については、実質赤字比率「-」、連結実質赤字比率「-」、実質公債費比率「7.7%」、将来負担比率「-」となり、いずれの数値も基準を下回り、健全団体と判断されているところです。

財政計画については、令和2年度に策定した財政計画を10月に見直しを行い、令和13年度までの計画を策定しました。

また、新地方公会計制度に基づき、令和2年度決算について、減価償却費などの企業会計的な手法を取り入れた財務諸表（貸借対照表、行政コスト計算書、純資産変動計算書、資金収支計算書の4表）を作成し、ホームページに掲載し公表しました。

### 2 管財・施設整備事務

市有財産の適正な管理を行うため土地家屋調査士会と連携を図りながら未登記処理を計画的に実施し、未利用財産については、一般財源確保のため売却、貸付を行いました。

庁舎管理については、各庁舎とともに消防用設備保守点検委託や清掃業務委託等を行い、適切な維持管理に努めました。

公用車の管理については、適正な運用管理を行うとともに軽自動車1台の購入及び軽自動車1台、マイクロバス1台の売却処分を行い、各課所管の公用車10台にドライブレコーダーを取り付けました。

庁舎整備事業については、増築庁舎建設工事の入札を令和3年9月に執行し、議会の議決後に工事を発注して、令和4年10月開庁に向けて工事を進めました。

また、駐車場整備においては、西側工区の用地取得を行い造成工事を実施しました。



















































































































































































